

効率的な運営で、事業所も職員も満足

介護記録のペーパーレス化を推奨します
～複写式の介護記録から脱却しませんか？～

ヘルパーさんや介護職員さんの負担を減らし、
職員さんがもっと輝く職場を作りましょう。
そのきっかけの一つがICTの導入です。





介護記録作成にICTを導入してみませんか?...



ヘルパーさんが作成した報告・情報が即時に、同時に複数のサ責に届きます。担当以外のサ責も見ることができるので、その人が不在時にも対応がしやすいです。



過去の介護記録を探すときに便利です。紙代やコピー代の節約になりました。さらに、保存する場所がなくなり、事務所がスッキリしました。



国保連への請求と連動していれば、システムへの誤入力、転記ミスがなくなります。



月末月初に集中する業務が分散できます。紙の仕分けが無くなります。



ICTの導入で働きやすい 介護職場を作りましょう！



記録については、あらかじめ設定されたチェックリストにチェックするものが多いですが、必要なことを記入することもできます。



登録ヘルパーの場合、報告の作成・提出のために事務所に行く必要がないので、直行・直帰が可能となります。



申し送りでの漏れや、いろいろな帳票に同じことを記載するような無駄、ムラが無くなります。

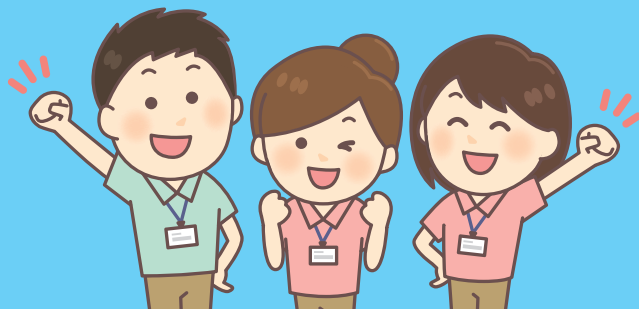


クラウドを活用しているシステムの場合、スマホなどの端末には個人情報記録されない長所があります。



予測入力や音声入力ができるものもあります、記録も手書きやワードに比べてカンタン。

ICTのスムーズな導入のためには…



使用するソフトにより、能力・価格は様々。いろいろなソフトを比べてみてください。



国保連への請求については、組み合わせて実施できるソフトや、ソフトに組み込まれているものもあります。



機器の準備は新品でなくても。格安SIMや中古スマホを活用するという方法もあります。



セキュリティの管理はしっかりと。IDやパスワードで情報漏洩は防ぎましょう。

京都府 健康福祉部 介護・地域福祉課
平成30年12月 発行

